

(別紙3)

## 目標達成計画

事業所名 グループホームらん

作成日 令和6年2月23日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5・6	身体拘束・虐待・感染症・BCP等の多彩な委員会を設置する中、当ホームだけで運用していたため、委員会業務で業務に追われ不効率である。	GH花すいせん（同一法人）と共同で委員会を設置し、業務の効率化を目指す。	同法人内のもう一つのGHと共有し、それぞれに委員会を設置するのではなく、共同で行い、業務の効率化及び、効果的な運用に努める。	6ヶ月
2	33	終末期に向けた体制が不足している。職員に看取りの経験者が少なく、看取りの研修を通してしか学べていない。	医療連携を強化する。看取りの指針を強化し、理解共有出来る。往診医との連携を取り、終末期の方針を固める。	本人家族からの情報や意向の確認は出来ているが、医療との具体的な連携を確認し、指針を作成し、それをもとに職員で共有する。	6ヶ月
3	2・35	地域密着型施設であるのに、地域との関わりが少ない。消防訓練などを実施しているが、地域住民に周知できていない。	地域住民に施設と役割をもっと認知していただき連携ができる。	地域のイベント等に積極的に顔を出し、施設自らも、カフェなどを提供し、交流の場を増やす運営推進会議で、自治体の方等に呼びかけ参加していただけるような出来るように検討する。	6ヶ月
4	49	現状、体力的・意欲的な問題もあり、全員で外出できない場合もあるが、出来るだけ外出の機会を増やすよう努めている。	定期的に外出の機会を提供する。家族等にも助けていただき、ご利用者の意欲を引き出す。	ご利用者の個々の要望に添えるように日頃から関わりを深め、意向をつかむ。集団にこだわらず、個別対応でも外出の機会を増やしていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。